

同時資料配布先：

学研都市記者クラブ

経済産業記者会

2021年2月8日

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

**2020年度ALPS国際シンポジウム**  
**—2050年カーボンニュートラルに向けた今後の戦略—**  
**開催のご案内**

2020年は大きな変化の年となりました。世界中で新型コロナ感染が拡大し、ロックダウンをはじめとした対策の影響を受け、経済の落ち込みが深刻化しております。経済活動の停滞により、2020年のCO<sub>2</sub>排出量は世界全体では対前年で7%程度の減少となる見込みですが、これは一時的なものであり経済の回復とともに排出量も増加に転じると思われます。そのような中、世界において経済復興と温暖化対策は結びつきを強め、今後の取り組みの大きな柱となっています。日本においては、昨年10月の菅首相の所信表明演説において、2050年でのカーボンニュートラル（脱炭素社会）の実現を目指すことが宣言され、具体的な取り組みへの議論が活発化しています。また、米国でもバイデン新大統領の誕生に伴い、パリ協定への復帰やグリーンリカバリー政策の実行など、「脱炭素化」への流れが大きく加速してきました。

このたび、「脱炭素社会」実現に向けた国内外の機運の高まりを踏まえ、「2050年カーボンニュートラルに向けた今後の戦略」をテーマとし、またALPS研究事業の成果報告会を兼ねて2020年度ALPS国際シンポジウムを開催します。本シンポジウムでは、海外の著名な専門家から主要国・地域におけるシナリオ分析や戦略をご講演いただくとともに、国内の企業・業界の方から、脱炭素化に向けたビジョンや取り組みをご紹介していただきます。脱炭素化を目指し、持続可能な社会を実現するために、最新の研究成果や企業の取り組みを参考にさせていただきかけの一つにしたいと考えますので多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

※ALPS事業とは；

RITEでは、経済産業省の委託事業として「地球温暖化対策技術の分析・評価に関する国際連携事業」（通称ALPS: ALternative Pathways toward Sustainable development and climate stabilization）を実施しています。この研究事業では、グリーン成長に資する国際枠組み、国際戦略立案に資する研究を進めており、また長期の気候変動リスクにどう対応するか、について検討を行ってきています。昨今のIoTの進展や、それに伴うシェアリングエコノミーなどは、エネルギー需要量を低減できる大きな社会的な変化の可能性も含んでおり、そのような将来的な低需要シナリオの検討などにも取り組んできています。さらには、政府のビヨンド・ゼロ目標の実現に寄与し得る大気中CO<sub>2</sub>回収技術（DAC）の全体システムにおける貢献についてもシナリオ検討を行ってしています。そして、地球温暖化問題研究で世界的に著名なオーストリアの国際応用システム分析研究所（IIASA: International Institute for Applied Systems Analysis）、米国の未来資源研究所（RFF: Resources for the Future）、国際エネルギー機関（IEA）をはじめ、世界の研究機関とも協力しながら研究を進めています。

## 1. 開催概要

主 催： 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構（RITE）

共 催： 経済産業省

日 時： 2021年3月9日（火） 10:00-17:30

会 場： イイノホール&カンファレンスセンターおよびWEB配信

プログラム：

10:00	開会挨拶	茅 陽一 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 理事長
10:05	来賓挨拶	経済産業省 産業技術環境局
10:10	趣旨説明	秋元 圭吾 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ グループリーダー
10:15	講演	Dr. Leon Clarke, Research Professor, University of Maryland “米国におけるシナリオ、政策など”
10:50	講演	山地 憲治 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 副理事長 研究所長 “脱炭素社会に向けた取り組みと実現へのシナリオ”
11:25	講演	Dr. Kejun Jiang, Senior Researcher, Energy Research Institute in China “中国の脱炭素化目標（2060年ターゲット）と排出削減シナリオ”
12:00	休憩	
13:20	パネル 討論	「脱炭素化へ向けた産業界の取り組み」 モデレーター：山地 憲治 公益財団法人地球環境産業技術研究機構 副理事長・研究所長  パネリスト： 多和 淳也 様：株式会社 JERA 経営企画本部 企画部長 深野 行義 様：日本ガス協会 企画ユニット 環境部長 楠本 正治 様：パナソニック株式会社 品質・環境本部 環境経営推進部長
14:50	休憩	
15:00	講演	秋元 圭吾 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ グループリーダー “日本における脱炭素化へ向けた動向とシナリオ分析”
15:35	講演	Dr. Keywan Riahi, Program Director, International Institute for Applied Systems Analysis (IIASA) “グローバルでの脱炭素化へ向けた動向とシナリオ分析”
16:10	講演	Dr. Leonidas Paroussos, Managing Director, E3-modelling Mrs. Alessia De Vita, Project Manager, energy analysis and policy, E3- Modelling “EUの長期戦略に基づくシナリオ分析”
16:45	講演	Dr. Vivian Scott, Senior Analyst, The Committee on Climate Change Dr. Richard Millar, Senior Analyst, The Committee on Climate Change “ネットゼロ社会に向けた英国の取り組み”
17:20	閉会挨拶	本庄 孝志 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 専務理事

## 2. 参加登録（参加費無料）

参加を希望される方は、下記 RITE ウェブサイトよりお申込みください。

<http://www.rite.or.jp/system/events>

### 3. プレス登録

取材を希望される報道関係者の方も、事前に参加申込み下さいますようお願いいたします。やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい。

#### 本件に関するお問合せ先

- ・ シンポジウム内容・参加登録に関するお問合せ先

システム研究グループ 山田、齋藤

TEL : 0774-75-2304 FAX : 0774-75-2317

- ・ 広報に関するお問い合わせ先

企画調査グループ 広報・産業連携チーム 川口、辰巳

TEL : 0774-75-2301 FAX : 0774-75-2314 E-mail: [pub\\_rite@rite.or.jp](mailto:pub_rite@rite.or.jp)

# 2020年度 ALPS 国際シンポジウム 2050年カーボンニュートラルに向けた 今後の戦略

同時通訳あり  
参加料無料

FY2020 ALPS International Symposium  
— Future strategy towards carbon neutral society —

2021年3月9日(火) 10:00~17:30 (受付開始9:30)  
イノホール+WEB配信

主催:公益財団法人地球環境産業技術研究機構(RITE) 共催:経済産業省

RITE  
Research Institute of Innovative  
Technology for the Earth

## ごあいさつ

2020年は大きな変化の年となりました。世界中で新型コロナ感染が拡大し、ロックダウンをはじめとした対策の影響を受け、経済の落ち込みが深刻化しております。経済活動の停滞により、2020年のCO<sub>2</sub>排出量は世界全体では対前年で7%程度の減少となる見込みですが、これは一時的なものであり経済の回復とともに排出量も増加に転じると思われます。そのような中、世界において経済復興と温暖化対策は結びつきを強め、今後の取り組みの大きな柱となっています。日本においては、昨年10月の菅首相の所信表明演説において、2050年でのカーボンニュートラル(脱炭素社会)の実現を目指すことが宣言され、具体的な取り組みへの議論が活発化しています。また、米国でもバイデン新大統領の誕生に伴い、パリ協定への復帰やグリーンリカバリー政策の実行など、「脱炭素化」への流れが大きく加速してきました。

RITEでは、経済産業省の委託事業として「地球温暖化対策技術の分析・評価に関する国際連携事業」(通称ALPS: ALternative Pathways toward Sustainable development and climate stabilization)を実施しています。この研究事業では、グリーン成長に資する国際枠組み、国際戦略立案に資する研究を進めており、また長期の気候変動リスクにどう対応するか、について検討を行ってきています。昨今のIoTの進展や、それに伴うシェアリングエコノミーなどは、エネルギー需要量を低減できる大きな社会的な変化の可能性

も含んでおり、そのような将来的な低需要シナリオの検討などにも取り組んできています。更には、政府のビュンド・ゼロ目標の実現に寄与し得る大気中CO<sub>2</sub>回収技術(DAC)の全体システムにおける貢献についてもシナリオ検討を行っています。そして、地球温暖化問題研究で世界的に著名なオーストリアの国際応用システム分析研究所(IIASA: International Institute for Applied Systems Analysis)、米国の未来資源研究所(RFF: Resources for the Future)、国際エネルギー機関(IEA)をはじめ、世界の研究機関とも協力しながら研究を進めています。

このたび、「脱炭素社会」実現に向けた国内外の機運の高まりを踏まえ、「2050年カーボンニュートラルに向けた今後の戦略」をテーマとし、また本研究事業の成果報告会を兼ねて2020年度ALPS国際シンポジウムを開催します。本シンポジウムでは、海外の著名な専門家から主要国・地域におけるシナリオ分析や戦略をご講演いただくとともに、国内の企業・業界の方から、脱炭素化に向けたビジョンや取り組みをご紹介していただきます。脱炭素化を目指し、持続可能な社会を実現するために、最新の研究成果や企業の取り組みを参考にさせていただききっかけの一つにしたいと考えますので多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

(公財)地球環境産業技術研究機構 副理事長・研究所長 山地 憲治

## 会場ご案内

イノホール&カンファレンスセンター  
〒100-0011

東京都千代田区内幸町2丁目1番1号  
飯野ビルディング4階~6階

- 霞ヶ関駅 C4出口直結
- 虎ノ門駅 9番出口 徒歩3分
- 内幸町駅 A7出口徒歩3分
- 新橋駅 徒歩10分



## お問い合わせ

公益財団法人地球環境産業技術研究機構  
システム研究グループ  
〒619-0292 京都府木津川市木津川台 9-2  
TEL:0774-75-2304  
alpssympo@rite.or.jp

## お申し込み

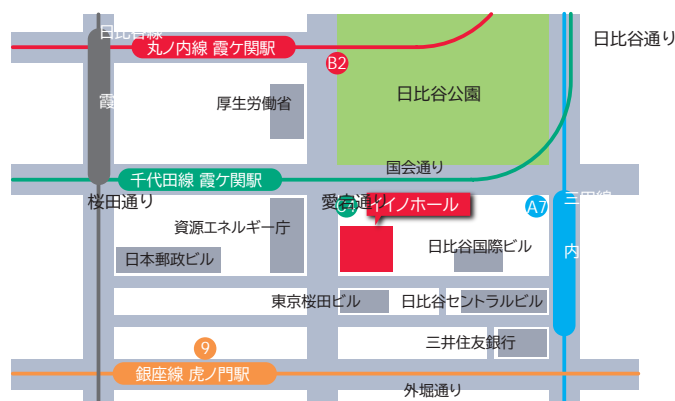
下記サイトからお願いします。

[www.rite.or.jp/system/events/](http://www.rite.or.jp/system/events/)

3月5日(金)までにwebにてお申し込みください。

ご提供いただいた個人情報は、今後当機構の関係するイベント等のご案内のために利用させていただくことがあります。ご不要の方は、申込時にその旨をお知らせください。

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、会場での対面開催とWeb 配信をあわせたハイブリッド方式にて開催いたします。ご希望の参加形式をお選びください。なお新型コロナウイルス感染症対策のため会場の定員数が少なくなくなり、会場での聴講希望でお申込みいただいた方全員のお席を確保できない可能性がございます。



- 10:00** 開会挨拶 茅 陽一 公益財団法人地球環境産業技術研究機構 理事長
- 
- 10:05** 来賓挨拶 経済産業省 産業技術環境局
- 
- 10:10** 趣旨説明 秋元 圭吾 公益財団法人地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ グループリーダー
- 
- 10:15** 講 演 Leon Clarke, Research Professor, University of Maryland  
米国におけるシナリオ、政策など
- 
- 10:50** 講 演 山地 憲治 公益財団法人地球環境産業技術研究機構 副理事長 研究所長  
脱炭素社会に向けた取り組みと実現へのシナリオ
- 
- 11:25** 講 演 Kejun Jiang, Senior Researcher, Energy Research Institute in China  
中国の脱炭素化目標(2060年ターゲット)と排出削減シナリオ
- 
- 12:00** 休 憩
- 
- 13:20** パネル討論 脱炭素化に向けた産業界の取り組み  
モデレーター: 山地 憲治 公益財団法人地球環境産業技術研究機構 副理事長 研究所長  
パネリスト: 多和 淳也 株式会社JERA 経営企画本部 企画部長  
深野 行義 日本ガス協会 企画ユニット 環境部長  
楠本 正治 パナソニック株式会社 品質・環境本部 環境経営推進部 部長
- 
- 14:50** 休 憩
- 
- 15:00** 講 演 秋元 圭吾 公益財団法人地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ グループリーダー  
日本における脱炭素化へ向けた動向とシナリオ分析
- 
- 15:35** 講 演 Keywan Riahi, Program Director,  
International Institute for Applied Systems Analysis (IIASA)  
グローバルでの脱炭素化へ向けた動向とシナリオ分析
- 
- 16:10** 講 演 Leonidas Paroussos, Managing Director, E3-Modelling /  
Alessia De Vita, Project Manager energy analysis and policy, E3-Modelling  
EUの長期戦略に基づくシナリオ分析
- 
- 16:45** 講 演 Vivian Scott / Richard Millar,  
Senior Analyst, The Committee on Climate Change  
ネットゼロ社会に向けた英国の取り組み
- 
- 17:20** 閉会挨拶 本庄 孝志 公益財団法人地球環境産業技術研究機構 専務理事